※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	地理総合　世界に学び地域へつなぐ（二宮書店）、高等地図帳（二宮書店）						
副教材等	新詳地理資料　COMPLETE2026(帝国書院)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理は暗記科目ではありません。確かに山脈や河川、国や都市など覚えなければならないものはありますが、覚えればなんとかなる教科というわけではありませんので、そのことは肝に銘じておいてください。地理で大事なことは「考える」ことです。「なぜここは降水量が多いの？」「なぜここに砂漠が形成されるの？」など、たくさんの「なぜ？」があります。習ったことを活かして、柔軟に考える力を身につけましょう。大事なのは思考力や判断力です。

2　学習の到達目標

① 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を効果的に調べて、まとめる技能を身に付ける。

② 地理に関わる事象の意味，相互の関連性などを，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間との関連性，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，地理的な課題の解決に向けて考える力や，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

③ 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現に向けて,そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，世界の諸地域の様々な生活文化を尊重しようとする自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，議論したりすることができる。	○知識及び技能を得たり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現をみすえてそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。
評価方法	出席状況 課題プリント 授業ノート 発表 学習の振り返り	定期テスト 課題プリント 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト（資料の読み取り） 資料の読み取り 学習の振り返り
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界各地の生活文化	1 経済発展と生活文化の変化 ～東アジア 日本の領域に関する問題 2 宗教の多様性と生活文化 ～ASEAN 諸国 3 水の恵みと生活文化 ～南アジア 4 イスラーム社会の多様性と生活文化 ～イスラーム圏	a:図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え，課題を整理できたか。 中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。 ASEAN 諸国を例に多様な民族が暮らす国々が統合を進めていった背景や課題について理解できたか。 イスラーム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。 日本の領域に関する問題について、国際関係をふまえつつ理解ができたか。 b: 中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について，主題図などの資料をもとに考察できたか。 日中韓の連携を学習内容から見出し，新しい関係づくりを捉えることができたか。 ASEAN 諸国の統合による生活文化の変化について考察し，課題を協議できたか。 地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。 C:身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ，中国や韓国の経済成長と課題について探究できたか。 多様な言語・宗教からなる ASEAN における経済成長と経済格差について意欲的に探究できたか。 イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ，圏内の共通点や相違点を探究できたか。 課題がどのように日本と関わっているかを考え，日本や自身が取り組む	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

			べきことは何かを追究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

2 学 期	世界各地の生活文化	5 多様な気候と生活文化 〜アフリカ 6 経済統合による 生活文化の変化 〜EU と周辺諸国 7 寒冷な気候と生活文化 〜ロシア 8 グローバル化による 生活文化の変化 〜アメリカ・カナダ	a: 図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え，自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。 生活文化を地形や気候と関連づけ，農業と食文化の関連について理解できたか。 産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。 言語や宗派の違いを乗り越え EU が統合する背景を理解できたか。 経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え，アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。 b: 地形，気候，歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。 経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ，アフリカの課題について捉え，課題やその対策を説明できたか。 ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について，主題図をもとに考察できたか。 グローバルな観点やからアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え，世界の経済や生活文化への影響を考察できたか c: アフリカの課題をまとめ，SDGs をふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。 言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。 アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え，世界への影響をふまえながら追究できたか。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り ・定期テスト	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

３学期	世界各地の生活文化	9 土地の開発による生活文化 の形成～ラテンアメリカ 10 植民と移民による生活文化 の形成～オセアニア	a: 図版や写真から開発の背景を捉え，開発と自然環境，生活文化，産業との関わりを整理できたか。 資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。 周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。 複数の国の衣食住の共通点と相違点を比較する技能が身についたか。 b: 図版と写真から，自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。 資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について，課題とともに協議できたか。 ２つの国の開発の背景を比較し，共通点と相違点を考察できたか。 開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。 c: 自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，開発の背景について意欲的に探究できたか。 都市問題や経済問題，環境問題などについて意欲的に調べ，その要因と解決について協議できたか。 ２つの国を比較して開発の背景を捉え，植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。 ２つの国の課題を整理し，貿易や移民の変化を追究できたか。	・定期テスト ・資料の読み取り ・学習の振り返り	・定期テスト ・プリント ・討論、発表 ・学習の振り返り	・プリント ・授業ノート ・発表 ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度